

やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞



年頭の挨拶

2025年度は粘り強く取り組み 「成長」と「変革」を得る年に

1ページ

ランドワークグループ樹木葬視察

注目の樹木葬墓地を見学しました！

2ページ

〔特集〕地域に根差したイベント企画

「津軽の食と産業まつり」 に参加しました！

3・4ページ



今まさに増加傾向です！

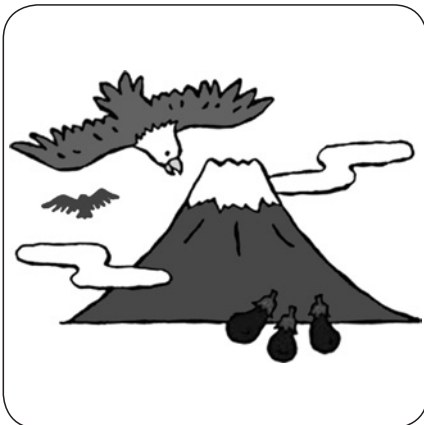
なぜお墓じまいが増えている！？

5・6ページ

お客様からいただいたお手紙

「大切な人に贈りたい」語りつがれる絵本

7ページ



初夢ってどんな夢！？

皆様、新年あけましておめでとうございます！

新年といえば「初夢」。皆様ご存知のように「一富士二鷹三茄子」は初夢としてとても縁起のいいものですよね。では、三茄子から後の四以降はご存知でしょうか。そこでちょっと調べてみました。

これは、地域や文献などにもよりますが、そのひとつとして「四扇（しおうぎ・しせん・よんせん）、五煙草（多波姑）（ごたばこ）、六座頭（ろくざとう）」という言葉があるそうです。

さて、2025年初夢はどんな夢！？



年頭の挨拶

2025年度は粘り強く 取り組み「成長」と 「変革」を得る年に



取締役社長 川原田 寿樹



新年あけましておめでとうございます。
新たな年の初めを迎え、皆さまには健やかに
お過ごしのことと、お慶び申し上げます。
去年は値上げの年だったと思います。

2024年4月に34年ぶりの水準となる1ドル160
円台をつけました。また、4月末から約1ヵ月間
にわたって日銀による為替介入が行われ、大きく
ドル円の為替レートが動いたことから不安を感じ
た人も少なくなかったと思います。

それにより、わたしたちの生活にも大きく影響
を及ぼしました。

円安によって食料品価格が大幅に上昇したのだ
です。その数なんと、12,500品目以上です。その
理由は、食料品の多くが輸入によって成り立って
いるからです。パンやパスタ、菓子類などに多用
されている小麦粉は9割近くが輸入ですので、
為替の影響を大きく受けてしまったのです。今後
も値上げの継続が見込まれ、品目数は24年を上
回って推移する可能性があるそうですね。はたし
てこの値上げはいつまで続くのでしょうか・・・

さて2025年は巳年（みどし・へびどし）で
す。巳は、十二支のなかでは6番目に数えられ、
時刻でいえば午前9時から11時までの2時間、
方角でいえば南南東にあたります。

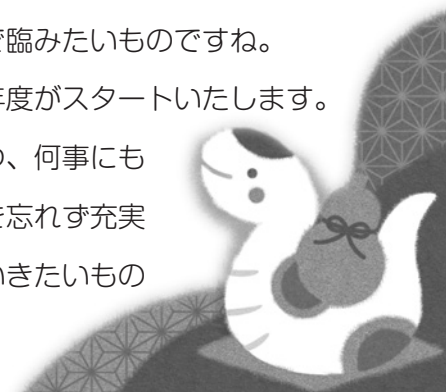
また、今年の干支は「乙巳（きのと・み）」で
す。干支は、甲乙で始まる十干（じっかん）と
十二支の組み合わせで全部で60通りですが、そ
の42番目になります。

「乙」は成長途中の状態を表し、「巳」は植物
が最大限まで成長した状態を意味します。

へびというと、しばしば嫌われ者扱いをされが
ちですが、一方で、脱皮を繰り返して成長するこ
とや、その生命力の強さから、「再生」「復活」
「長寿」を象徴し、縁起がいい生き物とされるこ
ともあります。みなさんは、へびに対してどのよ
うなイメージを持たれているでしょうか。

今年こそは具体的な成果が現れ始め、中には大
きな結果を手にする人もいるかもしれません。し
かし、すべての人が同じペースで結果を得られる
わけではありません。成長の速度は人それぞれあ
るからです。中には時間がかかる人もいます。行
動をしてすぐに結果が出なくても、焦らず粘り強
く取り組む姿勢で臨みたいものですね。

今年も新しい年度がスタートいたします。
健康に留意しつつ、何事にも
チャレンジ精神を忘れず充実
した1年にしていきたいもの
です。



ランドワークグループ樹木葬視察

注目の樹木葬墓地 を見学しました!



弘前店営業部 山内 一磨

こんにちは。弘前店の山内です。

私たちやまと石材は、全国にグループとして展開する「ランドワークグループ」の一員です。



その核となるのが、宮城県にある（株）まつしまメモリーランドです。そこを主軸として開発された「いずみガーデンメモリアル樹木葬」を視察してまいりました。

仙台市泉区にある妙法寺というお寺様が主体として運営されているわけですが、周りを自然が囲みとても落ち着いた雰囲気の中にその墓地がありました。



樹木葬という言葉は、皆様も一度は耳にしたことがあるかもしれませんが、その中でも非常に人気がある墓地です。

同じグループの一員でもある秋田石材様と一緒に見学したのですが、私たち同様驚きの視察となったようです。

緑に囲まれた自然の中で、静寂さとちょっとおしゃれな空間がそこに広がってありました。

今後のご供養の多様化に合わせた、お客様へのアプローチを勉強させていただきました。今回の視察をもとに、このような素敵な樹木葬墓地を津軽地区にも広めていければと思います。

お墓じまいというあらたなご供養のその先へ、やまと石材も一役担えればこんなにうれしい事はありません。



秋田石材様のメンバーも交え、まつしまメモリーランドの担当者にご説明を頂きました。

〔特集〕地域に根差したイベント企画

「津軽の食と産業まつり」に参加しました!



弘前店営業部 寺澤 綾子

こんにちは! 弘前店の寺澤です。

やまと石材弘前店はおかげさまで、2018年のグランドオープンから2024年で、ついに7年目を迎えることが出来ました!

これもひとえに、地域の皆様方のご支援があつての賜物だと感じております。心より感謝申し上げます。

そこでもっと多くの方々とふれあいの場を設け、少しでもご供養のお手伝いできればと思い、昨年の10月にやまと石材として「第22回津軽の食と産業まつり2024」に参加させていただきました!

今回は、2025年最初の記事として、このイベントのご報告をさせていただきたいと思えます。是非お付き合いください。

毎年9万人!?まさにビッグイベントです!

「第22回津軽の食と産業まつり2024」10月18日(金)~10月20日(日)の3日間に渡って弘前市運動公園で開催されました。

地域の企業様や飲食店様が参加される、弘前市ではとても大きなイベントで、毎年県外からのお客様も含め8万人~9万人が来場されます。凄いですね!



「やまと石材で~す!」
雨の中美声を轟かせる店長・寺澤です。



青森店から応援に駆け付けた佐藤です。
せっかくなので「たか丸くん」とパチリ!

そんなビッグイベントの初日、平日の開催であいにくの雨模様でしたが、多くの方が来場されておりました。今までの感謝の気持ちも込めて、ささやかなものですがお子様には風船を、一般の方々にはポケット

ティッシュを配布させていただきました。

初めての参加で不慣れな点多かったのですが、「やまと石材です。よろしくお願いします！」と元気いっぱいにご挨拶させていただきました。元気だけは誰にも負けません！

2日目は昨日より雨足が強かったのですが、土曜日ということもあり午後には多くの方でにぎわいました！

その中でもお墓じまいのご相談をされる方が多くご来店され、改葬先も含めて強く関心を持っていることを再認識しました。これも時代の流れですね。

そしてなんと！我らが社長・川原田が応援に駆けつけてくださり、自らティッシュ配りに精を出すという奮闘ぶり！私たちの士気も高まりました！負けてはいられません。明日も頑張ります！



負けじと社長の川原田も参上！「よろしくお願いします！」

みんなでやり切った最終日！



賑わいを取り戻した最終日・・・来年もお待ちしています！

した（これが一番の宣伝効果?）。来年もキティちゃんを連れて行かないといけません！

そしていよいよ最終日です！前日来場できなかった方も多かったのか、予想以上の方が来場されておりました。

おかげさまで200組の風船、2,000部あったポケットティッシュを午前中のうちに全て配布できました。みんな頑張りました！もらった方、小さな宣伝お願いいたします！

またこの日は天気も良かったため、石材で作ったキティちゃんと一緒に写真を撮っていかれる方がたくさんいらっしゃいました

2025年も参加させてください！

今回のイベントで、地域の皆様とたくさんお話する機会をいただき、とても嬉しかったです。ぜひ来年も参加させてもらえればと思います！！またこれからも多くの方々にやまと石材を知っていただきたいです。

お墓に関わる疑問やお悩み（小さくても構いません）をお持ちの方は、ぜひやまと石材にご相談ください。お待ちしております。

今まさに増加傾向です！

なぜお墓じまいが増えている!?



青森店営業部 平田 響子

こんにちは。青森店の平田です。

昨年にも増して、今年もさらなる成長をめざして頑張ります！みなさん応援よろしくお願
いします！

さて、この数年で私たちお墓の業界は大きな変革期を迎えております。

様々な要因からご供養のカタチが変わってきているなかで、今回はお墓じまいについて皆
様にお伝えしたいと思います。

墓じまいとは、今あるお墓を撤去・解体して更地にし、使用权を返還することを言いま
す。墓じまいと似た言葉で、「改葬（かいそう）」という言葉があります。これは、今ある
墓所から新たな墓所へ遺骨を納め直すことを言います。では、墓じまい（改葬）を選択する
人たちはどれくらいいるのでしょうか？

下記のグラフも参考してご覧ください。



(出典：厚生労働省 衛生行政報告例)



(出典：厚生労働省 衛生行政報告例)

増え続ける墓じまい

厚生労働省の発表によれば、日本における2021年度の墓じまい（改葬）の件数は11万8,975件。10年前にあたる2011年度の墓じまいの件数が7万6,662件だったことから見ると、約4万件も増加していることが分かります。

また青森市に目を向けると、改葬件数はここ数年で増加しており、2024年9月の時点では1,000件を越えています（青森市霊園管理課への取材結果より）。実際改装後のお骨の行き先の7割を占める月見野霊園合葬墓では8,000体収納予定数が既に1,600体を越えており、市の想定を大きく上回っています。

なぜ今墓じまいなのか！？

墓じまいが増加する要因として考えられているのが、核家族化と高齢化が進んだことです。そもそも墓を継いでくれる後継者がいない、子どもに墓の管理を負担させたくないなどの理由もあります。また、お墓が遠方にあるため、お墓参りに行くのが難しい、お墓の管理自体を負担に感じてしまう・・・ということもあるようです。



before



after

まずは話し合いが重要です

墓じまいをすることで、お墓を管理する費用が不要になる点は大きなメリットと言えますが、墓じまいをする際に一時的に撤去費用や改葬などの費用がかかるのも事実です。まずは大まかな費用を把握した上ですすめるようにしましょう。もちろん、その際の費用負担についてお墓に関係する家族および親族と話し合っておくことも重要です。

墓じまい・・・わからないことだらけだと思います。なんでもお気軽にご相談ください。

お客様からいただいたお手紙

青森市・I様

相内さんには大変お世話になりました。相内さんの営業は素晴らしいですね。最初から最後まで暖かな思いやりをもち接してくれて、お陰様で何の不安もなく気持ちよく無事に墓じまいと永代供養を済ませることが出来ました。
相内様と(株)やまと石材様に心から感謝申し上げます。



青森店営業部
相内 翔太

外ヶ浜町・K様

・墓石の説明も丁寧にしてくれました。
予算もオーバーにはならないように色々とアドバイスもしてくれたり
私たちのデザイン要望にも時間をおいてもらって聞きいれてくれて
満足いくお墓でした。
もし、お墓を新築している方がいたら紹介して下さいと思っておりました。



青森店営業部
宮崎 陽



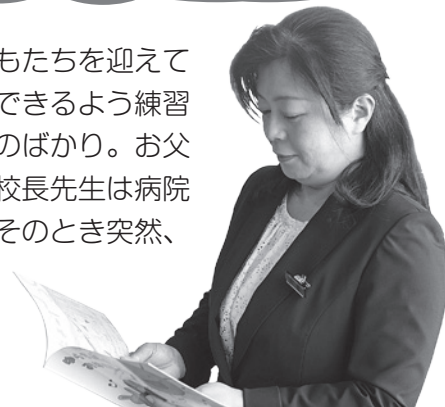
「くまのこうちょうせんせい」

こんの ひとみ/作・いもと ようこ/絵

「大切な人に贈りたい」
いつまでも語りつがれる絵本

くまの校長先生は、毎朝元気に「おはよう！」と子どもたちを迎えてくれます。声の小さいひつじくんは大きな声であいさつできるよう練習しますが、「大きな声」はひつじくんを悲しくさせるものばかり。お父さんとお母さんのケンカの声、お母さんに叱られる声……。病気になった校長先生は病院から学校に通い、ひつじくに大きな声を出すよう言ったことを謝ります。そのとき突然、校長先生の具合が悪くなり……。

実話をもとにしたお話です。末期ガンと宣告されながら弱っていく自分の姿のありのままを子ども達に見せ、命の尊さ、生きる意味を教えた大瀬校長先生。その姿は『命の授業』と呼ばれ、テレビ、新聞、雑誌などで紹介されました。今は亡き大瀬校長先生ですが、絵本を通して今もその思いが受け継がれてる珠玉の作品です。



ショールーム課・佐藤江里子

絵本の読み聞かせボランティアを続けて10数年。心に響く素敵な絵本を少しでも紹介できれば幸いです。

Landwork 日本最大39店舗の
ランドワークグループ 墓石専門店グループ

墓石と仏壇
石 やまと石材

【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388

【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com

友達募集、今すぐ登録!



青森 やまと石材 検索

編集後記

この編集後記は、12月上旬に書いております。去年の今頃は殆ど雪がなかったと記憶しておりますが、今年はなかなかの降雪ですね。年末年始は体調に気を付けて過ごしたいものです。そういえば2024年のお正月、私は高熱で寝込んでおりました。(佐々木)